

科目名 Course Name	経営学入門 I Introduction to Management I				ナンバリング No.	C1-014	
年次	1 年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	長江 庸泰						
連絡先(質問等)	C-Learning にて対応、オフィスアワー：本館 2F(研究室) 月～木曜 9:00～16:00(授業・会議時間を除く)						
必修／選択	選択						
関連 DP	DP2, DP3, DP5						
授業の概要と到達目標	この講義では、現代社会の重要な機関としての「企業」に焦点をあて、その社会的な役割・目的・責任などを学修し、その存続と発展にとって不可欠な「経営」という機能について、基礎理論や事例等を通じて体系的に学修できるようになることを目標とする。 ①「企業」に焦点をあて、その社会的な役割・目的・責任などを習得できる。 ②「経営」という機能について、基礎理論や事例等を通じて体系的に学修できる。						
授業の方法	本授業は、講義、マルチメディア授業、デジタルテキスト、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク等を活用しながら、経営戦略論の知識をベースに自分の頭で考え「問題発見・解決」に精通した人材育成を目指すものである。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	「企業」に焦点をあて、その社会的な役割・目的・責任などを習得できる。 「経営」という機能について、基礎理論や事例等を通じて体系的に学修できる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	小テスト・期末試験等の解答を示し、結果は、C-Learning 等で個別にフィードバックする。						
教科書／参考図書	長江庸泰作成の“デジタルテキスト[経営学入門 I 2025 年度版]”を活用する。／参考図書は随時指示する。						
履修上の留意点やルール等	事前・事後学習各回 180 分、本学の教育理念(想う人、考える人、行う人を創る)を体現する自主創造の教えを基に、「1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、課題解決型のアクティブラーニング」を常に心掛けること。						
担当教員の実務経験	●実務経験(職種:会社役員 職歴:45 年)、実務経験を技術経営戦略の実践面と学習・説明等で活用する。						

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	以下の 3 点から評価する:①ノートに関し、創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。S 評価の基準:上記参加態度を全て満たすもの。			10			
レポート/作品	S 評価の基準:①創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に展開している、③課題の本質と学習成果が十分にまとめられている。レポート最新課題は、月 1 回計 3 回提出予定(締切は各月末)。			30			
発表	S 評価の基準:①創意工夫した発表となっている、②自分の意見をまとめながら論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。			20			
小テスト	毎時間実施。満点の基準:全ての解答が正解。			20			
試験	16週目に実施。満点の基準:全ての解答が正解。			20			
その他							
合 計				100			

回数		授業計画
1	授業内容	授業ガイダンス:本授業の進め方と学び方/レポート課題説明と出題の解説、シラバスを読んでおき、各授業に関する質問事項等を考えておくこと。 ビジネスの基礎(1)プロローグ:「企業社会と私たちの生活」(日常生活の観察から出発し、この社会がいかに関「企業社会」となっていて、なぜ「経営学」を学ぶことが必要なのか、ということを生自ら考える)
	事前・事後学習	事前学習(上記質問事項等を準備しておくこと)・事後学習(ノートを整理しながら、自分で調べ、学ぶ姿勢を身につけること)。
2	授業内容	ビジネスの基礎(2)「製品・商品」とは何か? (身近にある製品の観察を通じて、製品が生産されてから私たちの手元に来るまでのプロセスを学ぶとともに、製品や商品の意味を、企業と私たちの両方から学ぶ。)
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
3	授業内容	ビジネスの基礎(3)「宅配サービス」とは何か? (身近にある宅配サービスの観察を通じて、Eコマースや物流の仕組みを学び、このビジネスの特徴と社会的役割について考える)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
4	授業内容	ビジネスの基礎(4)「配信サービス」とは何か? (身近にある音楽や映画の配信サービスについて、その仕組みとビジネスの特徴について学ぶ。また、このビジネスが私たちの生活をどのように変えたかについて考える。)
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
5	授業内容	ビジネスの基礎(5)「情報ネットワークサービス」とは何か? (身近になった光通信ネットワークや移動体通信ネットワークなどの情報通信ネットワークサービスについて、その仕組みと特徴を学ぶ。またそれが、私たちの生活をどのように変え、支えているかについて考える。)
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
6	授業内容	ビジネスの基礎(6)「コンビニエンスストア」の役割 (身近なコンビニエンスストアの観察を通じて、コンビニエンスストアがどのようなサービスを提供しているかを考える。また、その仕組みと社会的役割について考察する。)
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
7	授業内容	ビジネスの基礎(7)「レシート」は語る (身近にあるレシート(領収書)などの観察を通じて、レシートに記載されている情報の内容を検討すると共に、レシートが企業と消費者それぞれに果たす意味や役割を考える。)
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
8	授業内容	ビジネスの基礎(8)企業と私たちの消費生活について考える (私たちの生活と企業がどのようにつながっているかを討論する)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
9	授業内容	企業の基礎(1)「企業」「会社」のイメージ (新聞・雑誌・ネットなどの情報から、社会の中での「企業」「会社」のイメージを探り、実際の企業活動との共通性と乖離について考える)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
10	授業内容	企業の基礎(2)「企業」「会社」の仕組み (企業を理解するための枠組みとしての「法人」「会社制度」について学ぶ)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
11	授業内容	企業の基礎(3)「株式会社」とは何か (会社制度の中でも、現代社会で重要である株式会社制度についての基礎を学び、現実の社会的出来事と株式会社の関わりについて考える)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。

12	授業内容	企業の基礎(4)「企業」は誰のため、何のために存在するのか（社会の中の出来事から、企業の存在目的について、私たちの生活と関わらせながら検討する）。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
13	授業内容	企業の基礎(5)「企業の中で働く」ということ（基調とは何かのまとめとして、「企業の中で働く」とはどのようなことか、ということを経験と理論から学ぶ）。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
14	授業内容	前期まとめと課題（前期の授業を振り返り、私たちが消費者としても関わると共に、将来働く場となる「企業」について考える。）。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
15	授業内容	前期まとめと課題（前期の授業を振り返り、将来働く場となる「企業」と「ビジネスモデル」について考える）。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。